

前立腺肥大症に対する新しい低侵襲手術

当院では、前立腺肥大症に対する新しい低侵襲手術として 2019 年より CVP（接触式レーザー前立腺蒸散術）を導入しました。

前立腺肥大症とは？

前立腺は男性だけに存在する臓器で、膀胱の出口から尿道を取り囲むように存在し、もともと精液の成分を作っています。この前立腺が腫大して、尿道や膀胱を圧迫し、尿の出口を閉塞してしまう病気が前立腺肥大症です。前立腺肥大症の治療としては、尿道の閉塞を改善する内服薬や前立腺を縮小させる内服薬のどが用いられますが、効果が不十分な場合には手術による治療を検討します。

従来の前立腺肥大症に対する手術は尿道から内視鏡を挿入し、肥大した前立腺組織を電気メスで少しずつ切除する手術が中心でした。近年、レーザーを用いた核出術（前立腺の内側をくり抜くようにして摘除する手術）や蒸散術（前立腺組織を蒸散する手術）が行われるようになってきました。当院では最新の CVP（接触式レーザー蒸散術）を行っています。

CVP とは？



尿道から内視鏡を挿入し、その中を通してレーザーファイバーを挿入して、手術を行います。前立腺組織に接触したレーザーファイバーからレーザーを照射し、前立腺組織に高熱を与え、肥大した組織中の水分や血液を瞬時に沸点まで到達させて組織を気化させてしまうこと(蒸散)により、尿道の圧迫をとり、排尿状態を改善します。

[CVP 手術イメージ動画](#)

CVP と従来の手術の違い

CVP は従来の方法と比べ、出血が非常に少ないことが最大のメリットです。このため、抗凝固療法中の方でも、投薬を継続したままで手術が可能です。また、前立腺の大きさにもよりますが、実際に手術している時間は 1 時間前後と比較的短く、早期の回復が期待できます。